

NYマーケットレポート (2017年2月2日)

日本の長期金利が約1年ぶりの高水準に上昇したことで、日米金利差の縮小を見込んだ円買い・ドル売りが続いており、NY市場序盤のドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ドル/円は、一時112.06まで下落し、11月30日以来の安値を付ける動きとなった。その後は、値頃感のドル買い戻しに加えて、米債券利回りが上昇したことからドル買い・円売りが優勢となり、クロス円も堅調な動きとなった。

英ポンドは、英中銀が経済と物価の見通しを示すインフレレポートで、インフレが許容範囲上限に近づいていると示されたことで、利上げ観測が後退し、主要通貨に対して軟調な動きとなった。

2017年2月2日(木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.85	113.37	112.48
EUR/JPY	121.80	122.05	121.43
GBP/JPY	142.94	143.53	142.55
AUD/JPY	86.29	86.51	85.83
EUR/USD	1.0793	1.0799	1.0762

LONDON	高値	安値
USD/JPY	112.94	112.24
EUR/JPY	121.88	121.38
GBP/JPY	143.18	141.32
AUD/JPY	86.44	86.11
EUR/USD	1.0820	1.0789

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.77	112.82	112.06
EUR/JPY	121.35	121.68	121.22
GBP/JPY	141.35	141.63	140.77
AUD/JPY	86.38	86.49	86.22
NZD/JPY	82.21	82.31	82.08
EUR/USD	1.0762	1.0830	1.0756
AUD/USD	0.7661	0.7697	0.7658

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19884.91	-6.03
S&P500	2280.85	+1.30
NASDAQ	5636.20	-6.45
日経225(CME)	19040	-115
トロント総合	15399.11	-3.29
ボルサ指数	47095.07	+85.56
ボベスパ指数	64578.21	-257.91

2/3 経済指標スケジュール

08:50	【日本】12月日銀金融政策決定会合・議事要旨
09:00	【ニュージーランド】1月ANZ商品価格指数
09:30	【香港】1月購買部景気指数
10:45	【中国】1月財新メディア製造業PMI
16:00	【トルコ】1月消費者物価指数
16:00	【トルコ】1月生産者物価指数
17:30	【香港】12月小売売上高
17:50	～ 18:30
	【仏】【独】【欧】【英】1月非製造業PMI
18:00	【ノルウェー】失業率
19:00	【欧州】12月小売売上高
22:30	【米国】1月失業率
22:30	【米国】1月非農業部門雇用者数
22:30	【米国】1月平均時給
23:00	【メキシコ】1月消費者信頼感指数
23:45	【米国】1月マークイット米国サービス業PMI
00:00	【米国】1月ISM非製造業景況指数
00:00	【米国】12月耐久財受注
00:00	【米国】12月製造業受注指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1219.40	+11.10
NY 原油	53.54	-0.34
CMEコーン	367.50	-0.75
CBOT 大豆	1037.25	+0.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.205%	1.216%
3年債	1.467%	1.475%
5年債	1.923%	1.933%
7年債	2.262%	2.267%
10年債	2.472%	2.475%
30年債	3.087%	3.081%

ドイツ10年債	0.427%	0.468%
英国10年債	1.383%	1.449%

2/3 主要会議・講演・その他予定

- ・EU非公式首脳会議 (英国除く27か国)
- ・シカゴ連銀総裁 講演

21 : 05

英中銀声明

- ・「主要政策金利を 0.25% で据え置き、決定は全会一致」
- ・「国債と社債の買入れ計画は維持、決定は全会一致」
- ・「一部メンバーは、インフレ懸念の高まりを示唆」
- ・「2017 年のインフレ率予想を 2.7% でほぼ据え置き、2018 年は 2.6%」
- ・「2017 年 GDP 成長率予想を 2% に引き上げ (従来は 1.4%)」

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1 月米チャレンジャー人員削減数 (前年比) -38.8% (前回 42.4%)



出所 : Bloomberg

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1 月シンガポール購買部景気指数 51.0 (予想 50.5・前回 50.6)



出所 : Bloomberg

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 24.6 万件 (予想 25.0 万件・前回 26.0 万件)
 前回発表の 25.9 万件から 26.0 万件に修正

米失業保険継続受給者数 206.4 万人 (予想 206.3 万人・前回 210.3 万人)
 前回発表の 210.0 万人から 210.3 万人に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀ 新規失業保険申請件数・継続受給者数 ▶

	申請件数	・	前週比	・	4 週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
17/01/28	246,000	・	-14,000	・	248,000	・	*****	・	*****
17/01/21	260,000	・	+23,000	・	245,750	・	2,064,000	・	1.5%
17/01/14	237,000	・	-12,000	・	247,500	・	2,103,000	・	1.5%
17/01/07	249,000	・	+12,000	・	257,000	・	2,059,000	・	1.5%
16/12/31	237,000	・	-30,000	・	258,250	・	2,093,000	・	1.5%
16/12/24	267,000	・	-8,000	・	263,500	・	2,116,000	・	1.5%
16/12/17	275,000	・	+21,000	・	263,750	・	2,105,000	・	1.5%
16/12/10	254,000	・	-4,000	・	257,750	・	2,039,000	・	1.5%
16/12/03	258,000	・	-10,000	・	252,500	・	2,021,000	・	1.5%

受給者数は集計が 1 週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比-1.4 万件の 24.6 万件となり、2 週ぶりに減少した。節目の 30 万件を 100 週連続で下回っており、1970 年 4 月以来となる。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+2250 件の 24.8 万件となった。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-3.9 万人の 206.4 万となり、2 週ぶりの減少となった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比-1.3 万人の 207 万 9750 人。受給者比率は、前週比横ばいの 1.5%だった。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

4Q 非農業部門労働生産性 (前期比年率) 1.3% (予想 1.0%・前回 3.5%)
 前回発表の 3.1%から 3.5%に修正

経済指標データ

◀ 非農業部門労働生産性指数 ▶

	10-12	7-9	4-6	1-3	10-12
非農業部門労働生産性指数	1.3	3.1	-0.2	-0.6	-2.4
生産	2.2	4.2	1.6	0.7	0.8
労働総投入量	0.9	0.6	1.7	1.4	3.3
時間あたり給与	3.0	3.7	6.1	-0.9	3.1
実質給与	-0.4	2.1	3.4	-0.6	2.3
単位あたり労働コスト	1.7	0.2	6.2	-0.3	5.7
単位あたり非労働コスト	2.6	2.4	-2.8	2.1	-6.2
価格指数	2.1	1.1	2.3	0.7	0.5

(前期比、年率%)

10-12 月期の米非農業部門の労働生産性速報値は、年率換算で前期比+1.3%となり、上昇は 2 四半期連続となった。生産の増加が前期に引き続き労働時間の伸びを上回り、生産性の上昇をもたらした。前年同期比では+1.0%となった。賃金の指標である単位労働コストは、前期比+1.7%となり、上昇は 3 四半期連続となった。前年同期比では+1.9%となった。労働生産性は、前期比で生産が+2.2%、労働時間は+0.9%となった。時間当たりの労働報酬は、名目ベースで前期比+3.0%、物価動向を考慮した実質ベースでは-0.4%だった。製造業の生産性は前期比+0.7%、生産が+0.8%、労働時間は横ばいだった。

23 : 07

◀ 経済指標の結果 ▶

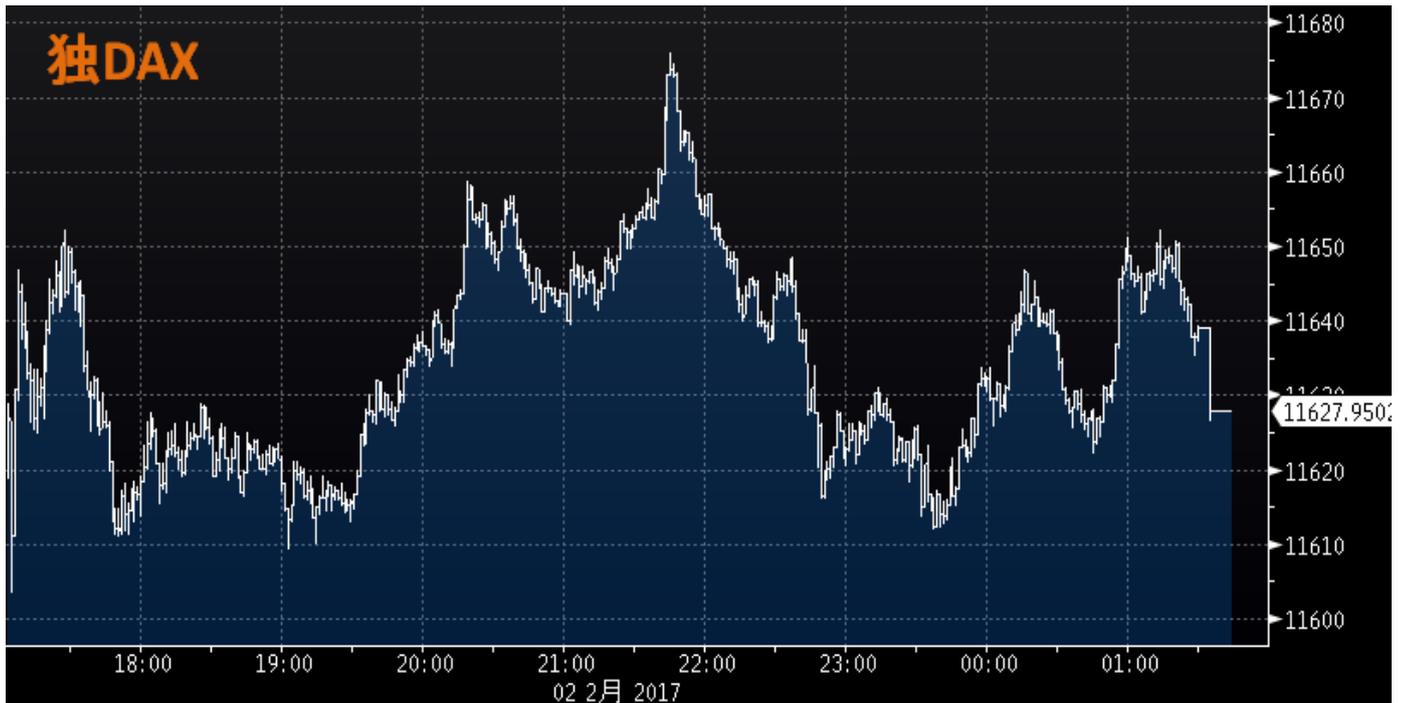
11 月メキシコ景気先行指数 (前月比) -0.09 (前回 -0.13)



出所 : Bloomberg

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 指数は、英国の利上げ観測が後退したことを受けて、堅調な動きとなった。一方、独 DAX 指数は、為替市場でのユーロ高・ドル安で、輸出企業の業績悪化懸念が広がったことが影響し、小幅安となった。

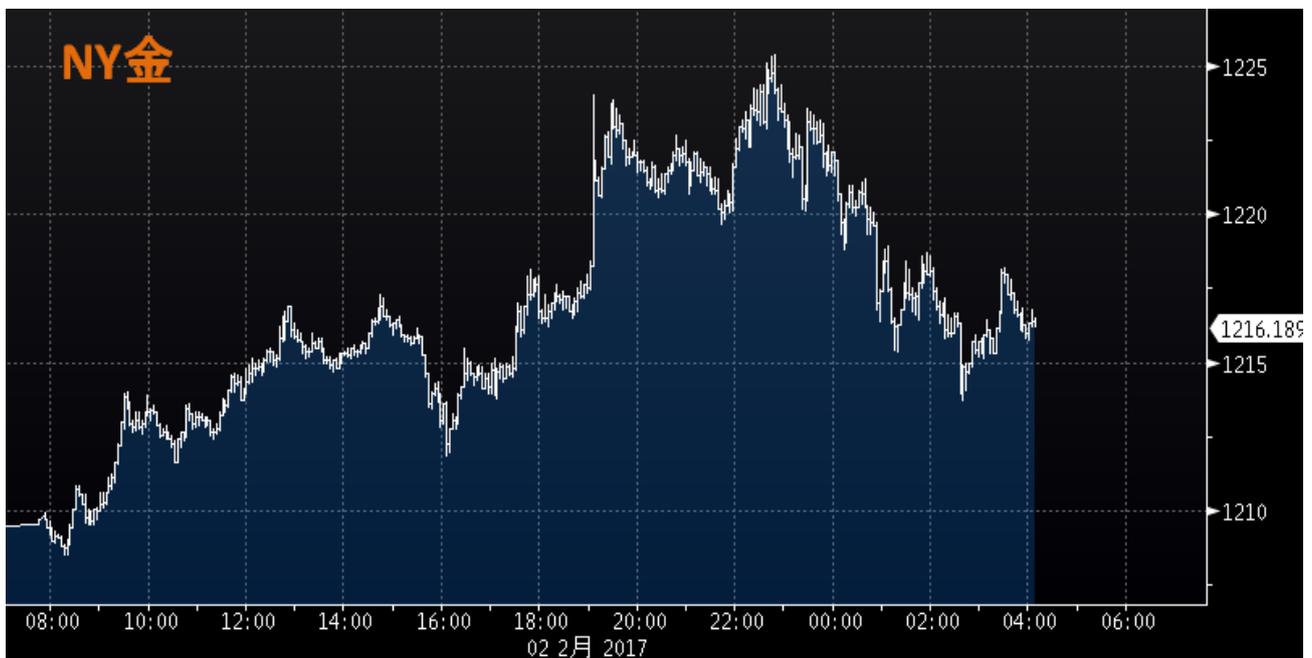


出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 11.10 ドル高の 1 オンス=1219.40 ドルで取引を終了した。

NY 金は、前日の米 FOMC 声明が 3 月の追加利上げを示唆しなかったとしてドルが主要通貨に対して下落したことを受けて、金の買いが優勢となった。終値ベースでは、昨年 11 月中旬以来、約 2 ヶ月半ぶりの高値水準となった。

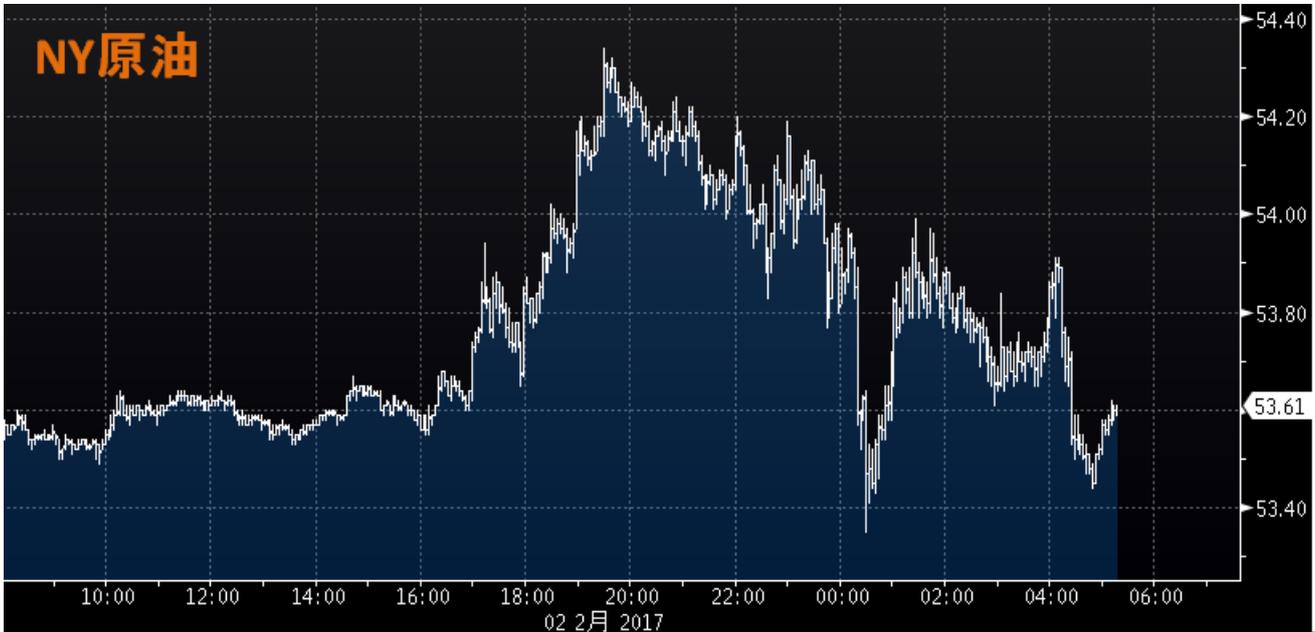


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.34 ドル安の 1 バレル=53.54 ドルで取引を終了した。

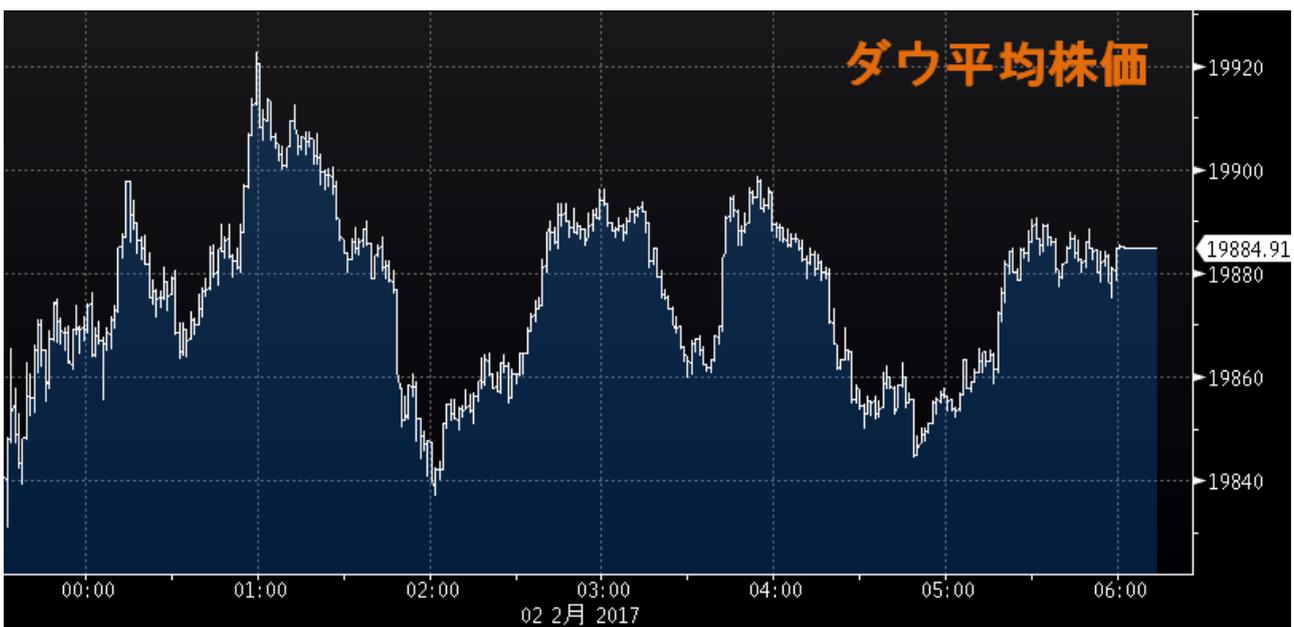
NY 原油は、主要産油国の協調減産に伴う需給引き締めへの期待から買いが先行した。その後は、利益確定売りに押され、マイナス圏で引けた。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、トランプ米大統領の過激な発言などで国際情勢の先行き不透明感が嫌気され、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。その後は、一時プラス圏まで上昇する場面もあったが、小幅安で引けた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 59 ドル安まで下落した。その後、プラス圏まで値を戻したものの上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

◀外国為替市場▶

外国為替市場は、日米の金利差の縮小を見込んだ円買い・ドル売りが続いており、序盤のドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後は、値頃感の買い戻しの動きや、米債券利回りの上昇を背景に堅調な動きとなった。ただ、米雇用統計を控えて様子見ムードも強まりつつあり、終盤は小動きの展開となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。